

農業後継者育成基金事業

平成27年度 農高・農大就農促進対策事業(農高就農促進対策助成)

事業主体名 鹿児島県立種子島高等学校

1 目的

本地域は農業が基幹産業であるが、入学者の多くは第二種兼業農家・非農家であり、農業体験が少ない。しかし、ほとんどの生徒が農業に興味・関心を持ったことを入学の動機にあげている。このような状況から、幅広く農業の実際を学ばせるための島外先進農家の視察研修や農業大学校での体験学習等は就農意欲の醸成とともに教育的効果が高いと考えられる。

2 実施状況(主要なものを選定して記載してください)

(1) 農業大学校の体験入学

農業大学校への進学を希望する3年生4名が、園芸コースと畜産コースの体験に2名ずつ参加した。希望する学科の説明を受けた後、花卉科・野菜科で体験実習を行った。畜産学部は防疫の関係から実習は実施できなかったが先進的な施設を見学できた。また、農大教育の特徴や寮生活の説明を受け、これまで以上に進学の意欲が高くなった。



農大の施設見学



農大の施設見学



農大の学部・学科説明

(2) 1年生島外視察研修

就農志望者に対して農業大学校や農業開発総合センター、島外の先進農家を1泊2日で見学した。農業への興味・関心を確かなものとし、将来就農を目指す動機付けになった。



農業開発総合センターの概要説明



下田畜産(さつま町)の農場視察



徳重人工授精所(さつま町)の視察

3 今後の課題、取り組み

本年度の農業大学校進学者は3名であった。「緑の学園」に参加したうちの1名は、農大進学を断念し農業法人へ就農することになった。今年度は、農大進学者は少なかったが、農業法人への就職者が4名と例年に比べ多かった。これも農業後継者育成基金事業を継続・活用し、研修の機会をいただいたお蔭である。今後も事業内容を魅力あるものにして、就農志望者が1人でも増え、地域農業を支える人材の育成に尽力していきたい。